

資料 3

地下水位上昇抑制対策について

地下水位上昇抑制対策について

1 概要

豊洲市場の地下水位は、地下水管理システムにより適切に管理されているが、大型台風等の際には、植栽帯など一部区域で一時的に地下水位が上昇することから、現在、ウェルポイント工法などにより、当該箇所の水位を低下させている。

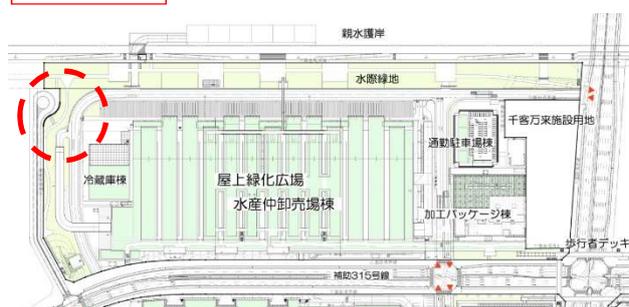
これまでで明らかになったこうした区域毎の地下水位変動の特徴等を踏まえ、より効率的に地下水管理を行うため、まず6街区の一部で地下水位上昇抑制対策を試行し、その有効性を確認する。

2 工事内容

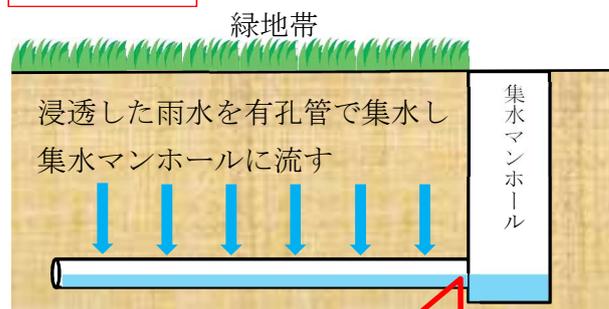
大型台風等の際に、一時的に水位上昇が見られる6街区の地点(下図 対策箇所)において、推進工法で有孔管を配置する。

主な工事内容：集水マンホール1箇所、有孔管 延長 82m

対策箇所

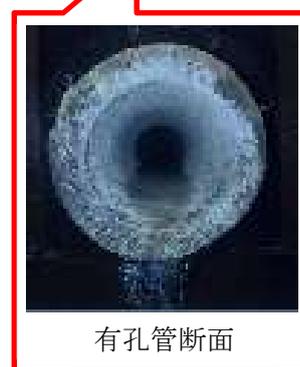


対策概念図



3 工事の影響

工事エリアは既存揚水井戸がある植栽帯内とし、そこに発進立坑を設置しコンパクトに施工する計画である。このため、市場通路の通行止めの必要はなく、影響は最小限で済む予定である。また、作業時間帯は市場の繁忙時間帯を避けた計画とする。



4 工事予定

工期 令和3年1月下旬～令和3年7月下旬